

陸前高田発

市立図書館がオープン



津波で全壊した陸前高田市立図書館がかさ上げされた新たな中心市街地で待望のオープン

を果たしました。新図書館は4月にオープンした大型商業施設「アバッセたかた」に併設されています。木のぬくもりを感じる明るく開放的な空間となっていて、蔵書はおよそ6万5000冊です。また震災に関する書物や被災した図書館から運び出されて修復を終えた貴重な郷土史の資料134点も収められています。(7/20 ニュースエコー)

山田発

浦の浜海水浴場で海開き

山田町船越の浦の浜海水浴場で震災後、初めての海開きが行われテープカットで待望のオープンを祝いました。

浦の浜は津波で砂浜の3分の2が流失。砂を搬入し人工的に砂浜を再生しての



オープンです。さっそく家族連れが訪れ、7年ぶりの浦の浜での海水浴に歓声を上げていました。

(7/22 ニュース)

大船渡発

越喜来波板海岸も海開き

大船渡市三陸町の越喜来浪板海岸でも7年ぶりに海開きです。青空が広がる中、関係者が神事で期間



中の安全を祈願しました。砂浜の長さは約70メートルと小さな海岸ですが子どもたちはさっそく波とたわむれていました。(7/22 ニュース)

もたちはさっそく波とたわむれていました。(7/22 ニュース)

陸前高田発

新庁舎の整備方針を提示

陸前高田市が高田小学校跡地に新築する市役所庁舎は鉄筋コンクリート造り7階建てで、事業費は約50億円。そのうち一般財源などで市が負担する額は約10億円とされています。陸前高田市議会の全員協議会で市が示したものです。新庁舎の基本方針には「誰にもやさしい利用しやすい庁舎」や「災害時に行政機能が継続できる施設」などが掲げられています。完成は2020年度の予定です。(7/24 ニュースエコー)



宮古発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

みやこハーバーラジオの田澤紗綾さんが、11回目を迎える「重茂味まつり」について伝えてくれました。8月6日(日)午前9時半から重茂漁港で開催されるもので、活ウニ・活アワビなどの販売、海産物がもらえる引換券も入った海藻小袋まき、本州最東端クルーズ、アワビ獲りコーナーの他、ステージイベントも行われます。今が旬のウニは「生ウニ」や「焼きウニ」のほか、生ウニを塩水に漬けた後に熟成させた「磯ウニ」という希少な商品も販売されるという事です。(7/26)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから<http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122